



マテリアリティ 安定した収益と経営基盤の強化

株主・投資家との対話

基本的な考え方

2015年12月に制定した「三機工業コーポレートガバナンス・ガイドライン」において、株主の権利・平等性の確保、適切な情報開示と透明性の確保、株主との対話等について基本的な考え方を示しています。これらの方針にのっとり、株主・投資家の皆さまに対する責任を遂行していきます。



三機工業
コーポレートガバナンス・ガイドライン
<https://www.sanki.co.jp/corporate/governance/guideline.html>

適切な情報開示と建設的な対話

三機工業グループは、企業情報の適時適切な開示を「ディスクロージャーポリシー」で定めています。開示義務のない情報であっても、株主・投資家の皆さまにとって有用であると判断した情報は積極的に開示し、経営の透明性を確保しています。

また「中期経営計画 2027」において、経営管理の最適化を掲げており、ステークホルダーの皆さまとの対話を行いつつ、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行う仕組みづくりを進めています。

ディスクロージャーポリシー
<https://www.sanki.co.jp/ir/disclosure/>

経営ビジョン“MIRAI 2030”&中期経営計画 2027
https://www.sanki.co.jp/ir/policy/doc/index_20250513_01.pdf

株主・投資家との対話の実施状況

株主総会は、ライブ配信を併用して開催しているほか、Webサイトを活用した事前・事後質問受付など株主の皆さまの利便性向上と情報開示の充実を図っています。株主・投資家の皆さまに対しては、アナリスト・機関投資家向け決算説明会（アーカイブ動画や質疑応答要旨をWebサイトに公開）・IRミーティングなどを通じて、2025年度は計159回の対話を実施。海外機関投資家を対象に、社長、最高財務責任者らによる現地IRミーティングも実施しています。株主・投資家の皆さまとの対話を通して把握したニーズ・意見は取締役会・経営会議へ定期的にフィードバックしています。

2025年度の
株主・投資家との
主な対話テーマ

- 経営ビジョン“MIRAI 2030”および「中期経営計画2027」について
- 中長期的な業績、受注環境の見通しについて
- 機械システム事業の収益性改善に向けた取り組みについて

2025年度IRミーティングの実施状況

対応方法および対話を実施した株主・投資家	個人株主向け ● 個人株主様向けアンケートの実施
	機関投資家向け ● アナリスト・機関投資家向け決算説明会 ● IRミーティング ● 海外IRロードショー
対応者	● 代表取締役 社長 ● 取締役専務執行役員 建築設備事業本部長 ● 取締役専務執行役員 最高財務責任者 ● 取締役常務執行役員 コーポレート本部長 ● 広報・IR部長 ● IR担当者
対話で得た意見・要望の取締役会・経営会議へのフィードバック	6回



決算説明会



海外での
IRミーティング

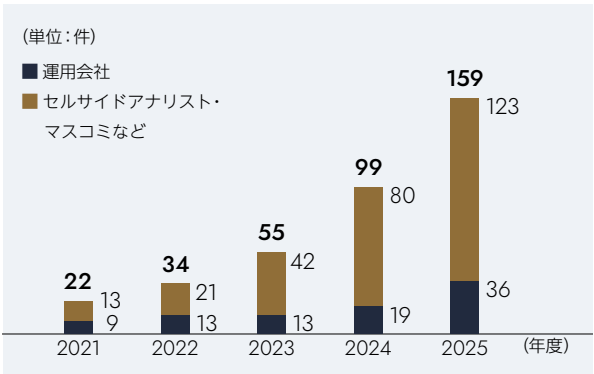
株式分割の実施

2026年5月1日をもって、当社普通株式1株を3株に分割しました。これは、株主・投資家との継続的な対話を踏まえた施策の一環として実施したものであり、より多くの投資家に当社株式への投資機会を提供することを目的としています。株式分割により投資単位の引き下げを図ることで、個人投資家を含む幅広い投資層の参入を促進するとともに、市場における流動性の一層の向上につなげていきます。

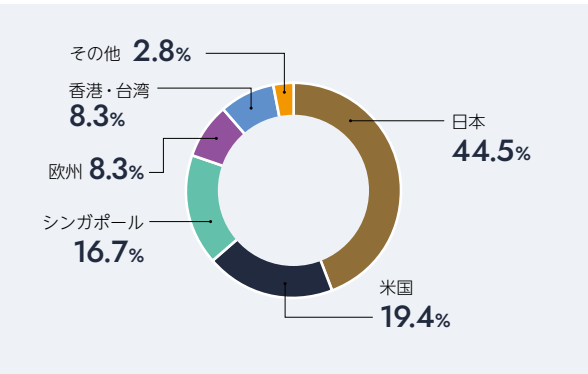
株主・投資家からの質問例(2025年度)

項目	主な質問・意見	回答	質問者
経営ビジョン“MIRAI 2030”および「中期経営計画2027」について	今後の受注環境についてどう考えていますか。	今後も、主に東京、大阪、名古屋エリアでの再開発が活況となる見込みです。また、産業空調では半導体工場の新築のプロジェクトなどが期待できると考えています。	セルサイドアナリスト
	データセンター向けビジネスの取り組み状況と今後の見通しを教えてください。	データセンターは大きなビジネスチャンスと認識しています。当社は電気工事でハイパースケールデータセンターの施工実績があり、今後は空調設備工事でもデータセンター向け受注を拡大していきたいと考えています。	海外機関投資家
中長期的な業績、受注環境の見通しについて	営業利益は既に中期経営計画の目標値(300億円、営業利益率10%)に近づきつつありますが、計画の目標値を修正しないのですか。	需給の逼迫による利益率改善が好調に進んでおり、計画立案時と現在で利益の前提条件が(良い方向に)変わっている面があります。2026年3月期業績の着地点によっては目標値の見直し含めて検討する予定です。	セルサイドアナリスト
	ESMatrix社の株式取得は今後どのような形で業績に寄与しますか。	現時点で業績への寄与度は小さいですが、このM&Aを足掛かりに、今後、ASEAN地域へのデータセンター向けや半導体関連向けの需要を狙っていきと考えています。	国内・海外機関投資家
機械システム事業について	機械システム事業の現状と改善策を教えてください。	海外製品との競争激化などにより受注・売上が伸びない厳しい状況が続いています。対策として営業体制の増強や、クリーンルーム向け搬送設備など付加価値の高い製品開発を進めていますが、成果はまだ限定的です。中期経営計画内での黒字化を目指し、必要に応じて事業の合理化なども含めて業績改善に向けた取り組みを実行してまいります。	国内・海外機関投資家

対話件数



IRミーティングの相手先の国別内訳(機関投資家)



所有者別株式分布状況

